

実施計画2030の重点戦略(案)について

(1)重点戦略

実施計画では、政策目標を実現するため分野横断的かつ重点的に取り組む事項を「重点戦略」として位置づけます。将来を見据え、「人口減少期でも元気で持続可能なまち」であり続けるために、3つの視点を持ちながら進めていきます。

視点

1 まちの力を活かして 魅力をアップする

このまちが持つ資源や特性といった強みをさらに伸ばし、活用することで、活力と魅力の向上を図り、まちの元気を創ります。

まちの資源を活かして活気を生み出す

このまちが持っている地域資源を活かし、まちの中で活動する様々な主体と連携して、にぎわいや魅力の向上を図り、まちの活気を生み出すための取り組みを進めます。

まちの力で茅ヶ崎らしく子どもを育てる

このまちで活動する様々な主体や民間企業等の力を活かし、子どもの豊かな人間性を育むための取り組みを進めます。

視点

2 人口減少・少子高齢化 に伴う課題に対応する

人口減少や少子高齢化により、直近で生じる課題に対応し、茅ヶ崎での暮らしの水準の維持を図ります。

人手不足な中でも公的サービスを維持する

生産年齢人口が減少しても、公的サービスの維持を図るため、公的サービス分野における人手不足対策のための取り組みを進めます。

超高齢社会で健康長寿を実現する

高齢化が進行する中で、高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、健康長寿を実現するための取り組みを進めます。

視点

3 先を見据えた対策を 講じる

中・長期的に対応すべき課題に今から着実に取り組むことで、茅ヶ崎が2030年の先も持続可能なまちとなるよう未来への備えを講じます。

脱炭素なまちづくりを推進する

深刻化する地球温暖化への対策として、公共施設や民間事業所での脱炭素のための取り組みを進めます。

災害に備えた安全なまちをつくる

近年、頻発・激甚化する災害に対応するため、ハード、ソフトの両面から災害に備えた安全なまちを実現するための取り組みを進めます。

課題を踏まえて公共施設を適切に管理する

老朽化するインフラ施設や公共施設の増加に対し、それぞれの施設の状態を踏まえて適切に施設管理を行っていきます。

実現に向けた手法の視点

多様な主体との連携

- アイデアやネットワーク等の民間の企業や市民団体、市民個人の持つ資源・長所を生かした取り組みの展開
- 高い相乗効果やスケールメリット等を発揮できる分野での他の自治体との連携

DX/デジタル化

- DX/デジタル化による市民の利便性向上と業務の効率化による人手不足の解消

(2)実施計画 2030 重点戦略に紐づく取り組み

視点	柱	取り組み
まちの力を活かして魅力をアップする	まちの資源を活かして 活気を生み出す	◆ サザンビーチ・漁港周辺地区での民間の力を活用した賑わいづくり ◆ 民間の力を活かした歴史的建造物の活用によるまちの魅力づくり ◆ それぞれの分野で活躍する人々と連携し、スポーツ、文化の力でまちを活性化 ◆ 活動場所の提供などにより市民活動を支援し、人がつくる活力を創出 ◆ 漁業者などと連携した新たな特産品の創出
	まちの力で茅ヶ崎らしく 子どもを育てる	◆ 小学校の水泳授業の民間事業者による本格指導 ◆ 地域の団体と連携した子どもの居場所づくり ◆ 湘南ベルマーレやNPOと連携し、子ども達の創造力を育成 ◆ 地元のプロアスリートの力を活かした学校教育、環境教育の充実
人口減少・少子高齢化に伴う課題に対応する	人手不足な中でも 公的サービスを維持する	◆ 介護職の職場体験支援など公的サービスの人手不足対策を強化 ◆ 公共施設利用の予約から支払いまでのオンライン化など「行かない市役所」を推進し、利便性を向上 ◆ 生成AIなど最新デジタル技術の活用による行政事務の効率化
	超高齢社会で 健康長寿を実現する	◆ ボランティアサポーターを養成し、シニア健康事業を強化 ◆ 低栄養、孤独高齢者へのきめ細やかな健康指導 ◆ 疾病ハイリスク保有者への予防改善アプローチ

視点	柱	取り組み
先を見据えた対策を講じる	脱炭素なまちづくりを推進する	◆ ゴミの減量化、資源化のさらなる推進 ◆ 民間企業の伴走支援などによる脱炭素シナリオ推進 ◆ 保健所など新設公共施設のZEB化 ◆ 照明LED化など公共施設の省エネ化
	災害に備えた安全なまちをつくる	◆ 災害時の応援部隊の受け入れ機能の向上を含めた消防本署の建替に向けた取り組みを進め、防災機能を強化 ◆ 千ノ川の拡幅整備や下水道管路の耐震化によるまちの強靱化 ◆ 深刻化する大雨災害に備えたハザードマップの見直し ◆ AIを活用したSNS情報の収集・分析と迅速な災害情報の発信
	課題を踏まえて公共施設を適切に管理する	◆ 橋梁調査や路面下調査の実施などによるインフラ施設の安全管理 ◆ 広域連携による公共施設の効率的な更新 ◆ 斎場のバリアフリー化